

「千葉市シェアサイクル実証実験」を共同実施する事業予定者が決定しました ～千葉都心及び幕張新都心におけるシェアサイクル実証実験～

千葉市では、都市部における新たな都市交通システムとしてのシェアサイクルの有効性及び課題などを検証するため、本市と共同で実証実験を実施する事業者を、公募型プロポーザル方式により募集しました。

このたび、事業予定者を決定しましたので、お知らせします。

1 事業予定者

(1) 名称

オープンストリート株式会社（東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル14階）

(2) 選定方法

参加表明のあった4者について、市職員（7名）で構成する選定委員会で、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、選定。

2 提案概要

- ・実証開始当初は、ステーション設置エリア及び投入自転車台数を限定し、エリア内のステーション密度を高くして利用者への利便性を訴求
- ・利用状況を考慮しながら、サービス提供エリアを拡大し、実証開始から12か月以内に、1,000台規模（千葉都心・幕張新都心それぞれ500台）の自転車を投入
- ・コンビニ、不動産、自転車専門業者など、多種多様なパートナー企業との連携により、安全で利便性の高いサービスを提供
- ・利用者のスマートフォン向けアプリにロケーションにマッチした地域情報を配信

3 実証実験概要

(1) 実施期間

平成30年3月中旬～平成31年9月末（予定）

(2) 実施地域

地域名称	範囲
千葉都心エリア	千葉駅を中心とする概ね半径2.0kmの範囲
幕張新都心エリア	海浜幕張駅を中心とする概ね半径2.0kmの範囲

(3) 実施体制

主 体	千葉市（実施主体）	OpenStreet 株式会社（運営主体）
役 割	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験全体の総括 ・公共のステーション用地確保（実験期間中は使用料を免除し、採算性の検証を求める） ・関係者調整（交通事業者、自治会） ・市民等への周知（ホームページ、市政だより） 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び器材整備（道路及び公園はラック必置） ・民間のステーション用地確保 ・シェアサイクル事業の運営 ・違法駐輪対策 ・利用者アンケート・データの収集等 ・利用者への周知・広報

※事業者による本事業の運営に要する費用はすべて事業者の負担とし、千葉市は補助金、委託料、その他一切の費用を負担しない。

4 スケジュール

平成29年	11月17日	募集要項の公表・配布開始
	12月19日	企画提案書の受付期限
	26日	プレゼンテーション
平成30年	1月12日	選定結果公表
	1月下旬	基本協定書締結
	3月中旬	事業開始（実施期間は平成31年9月末まで）

参考 オープンストリート OpenStreet株式会社について

平成28年11月に設立された企業。同月よりIoTを活用した自転車シェアリングシステム「HELLO CYCLING」の提供を開始。

シェアサイクル運営事業者に「HELLO CYCLING」のシステム（スマートロック、利用者向けアプリ、決済システムなど）を一括提供するビジネス形態をとっているのが特徴。

電車やバスなどを下車した後の「ラストワンマイル」の移動を支える補助交通として、各地に根差したシェアサイクルを発展させることを目的としている。

自治体との連携として、これまでに栃木県小山市（平成29年4月から実施）や愛知県岡崎市（平成29年10月から年度末まで実証実験中）での導入実績があるほか、小豆島や埼玉県さいたま市でも「HELLO CYCLING」を活用したシェアサイクルが展開されている。今後、全国の政令指定都市を中心に「HELLO CYCLING」を活用したシェアサイクルを展開することを目指している。

